

昨日、17日間の選挙戦が終わりまして、多くの県民の皆様のご支援、ご支持をいただき、県政2期目を担当することになりました。

皆さんは、私とともに県民の皆様のために働く仲間であります。我々の前に多くの課題もあります。一緒になって頑張っていきましょう。よろしく願い申し上げます。

選挙は、候補者が県民の皆様にご自分の考えや自分が行おうとする政策等につきまして、説明をさせていただき、ご理解をいただく、そういう場です。

それと同時に、各地で県民の皆様から、県政に対するご意見、お考え、あるいは要望などを、お聞きをする場でもあります。

それは、いろんな形で感ずるわけです。

私が街頭演説などお話をしている際の、県民の皆様の反応や関心度合いなどからも伝わってきますし、あるいは、握手をして回る際にも「こういうことをよろしく願いますよ」というような形で、私にお伝えいただくということが多々あります。

私は、これまで、出来るだけ現地を回り、県民の皆様のお考え、ご意見などをよくお聞きして、それを県政に反映するよう努めて来ました。

今回、17日間県内の各地を回り、そうしたことの重要性を改めて感じたところであります。

特に、今般は、あの東日本におきます大地震、大津波、そして深刻な原発事故に対するご懸念、ご心配を多くのところでお聞きしました。

私は、この深刻な事態に対しまして、「原子力発電の在り方、その安全対策、あるいは国全体のエネルギー政策全体を抜本的に見直していかなければならない。そういうことを、国に強く申し入れていきます。」ということをお伝えしてきたところであります。

他方、今日、この原発の事故はまだ収束しておりません。収束まで大きな問題が残っており、まだ時間を必要としています。

そして、国による抜本的な見直しも、多分、まだ時間を要すると思います。

私は、「そうした国の対応を待つことなく、県として、我々として、出来るものからどんどんやってまいります」ということを、お話ししてきました。

その点では、中国電力による津波対策でありますとか、防災計画の見直し等におきま

しても、一定の進展が図られつつありますが、この面についても、全力を上げてまいりたいと思いますので、皆様のご協力をよろしく申し上げる次第であります。

そして、災害と言うことになりますと、それは地震に限らないわけであります。島根は過去においても水害がありました。台風の被害もありました。土砂崩れといった人命を失う事故、災害もたくさんありました。そういう問題に我々、しっかり対応していかなければなりません。

そしてまた、最近では口蹄疫の問題でありますとか、鳥インフルエンザ、あるいは、年初の大雪といったようなことも、あるわけであります。

私どもは、県民の皆様の安全安心な暮らしを守るよう、全力を上げて行かなければなりません。そのことを、私どもの対応の中によく入れていく必要があります。

また、災害は自然災害だけに限りません。

一昨年、リーマンショックがアメリカで起こりました。経済的なショックであります。そのショックは、世界中を短時間のうちに津波のように駆け巡って、この日本、そしてこの島根にも大きな影響が出ました。

そうしたことに對して、県はいろんな経済対策も累次にわたって取ってきました。県職員の皆さんも一所懸命、これに對応されてこられました。

また、今般の大地震、大津波もあの地域だけの問題ではなく、日本全体に對しても物流を通じ、電力供給の不足を通じ、観光の減少を通じ、いろいろな形で、多くの影響が既に出始めております。そういう対応もこれからやっていかなければなりません。

被災地の復旧、そして被災をされた方々の受け入れなど、県も一所懸命やっておりますが、それと同時に経済的な影響に對しましても、しっかりとした対応を取っていかなければならないと考えているところであります。

さて、島根県各地をこうしてまわりますと、やはり少子高齢化が進み、人口の減少があるといった問題を再認識させられます。各地でご高齢の方々に出迎えていただいたりして、島根には豊かな自然や豊かな地域社会があるなあということも感ずるわけでありますけれども、やはり島根県全体を活性化すると言うことが、中長期的に我々に課せられた大きな課題であります。

そのためには、皆さんもこれまで一所懸命に努めて来られましたけれども、産業の振興を行う、そして雇用の場を確保する、県政の大きな課題であります。

この問題は、粘り強くやっていかなければなりません。

これまでに、企業誘致など一定の進展もありますが、やはり地域地域における産業を振興する、県内企業の活動を活性化する、そういうため県も必要な支援を行う、販路の拡大を行う、新製品の開発等を支援する、あるいは、経済的ショックの際の中小企業の経営安定のための対応を素早く行う、こういうことが、引き続き重要であります。

そしてまた、今、皆さんにやっていただいておりますけれども、島根には大きな観光資源と申しますか、古き良き文化、歴史、そして豊かな自然があります。豊かな食材が、そういう自然の中からとれます。そうした強みを活かしながら、観光振興も一所懸命やって行きたい。

既に始めております「古事記1300年」、あるいは「神々の国島根」、そうした大キャンペーンにつきましても、皆さんが市町村と一緒に、県民の皆さんと一緒に、全力を上げて取り組んでいただきたいと思います。

また、島根では少子高齢化が進んでおります。そうした対応も大きな課題であるわけであり、医療の確保、福祉・介護の充実、子どもの健全育成、子供達が健全に健やかに育つように、家庭・学校・そして地域社会が一緒になって子育てを支援をしていく、これも大きな課題であります。

また、島根の発展のためには遅れているインフラの整備、あるいは、安全安心の県土づくりに対しましても、いろんなインフラ整備が必要です。

我々が努力すると同時に、遅れているインフラ整備等に対しまして、国に対して島根が一体になって整備促進を求めていかなければなりません。

私どもの前には多くの課題があります。我々が一丸となって取り組んで行かなければなりません。

皆さんとともに、島根の発展のため、豊かな心温かい地域社会を実現するように全力を上げてまいります。一緒になって頑張ってもらおうよう、お願いを申し上げまして、私からの選挙後の皆さんへのご挨拶といたします。